

○特定の相手との交際（自他を尊重する態度）に関する指導

領域	生活	学年	小2	単元名	大きくなった自分
ねらい	幼少期の自分と今の自分を比べる活動を通して、自分の成長に気付くとともに、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつことができる。				
評価規準	自分の体が大きくなったことや、自分でできるようになったことが分かり、自分の成長を支えてくれた人々の存在に気付いている。（気付き）				
過程	時間	学習内容・活動			指導上の留意点
導入	7	<p>1 家から持ってきた写真等を基に、今の自分と比べて気付いたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごく大きくなった。 ・歩けるようになったよ。 ・一人でご飯を食べられるようになった。 ・なわとびなどできることが増えた。 			<ul style="list-style-type: none"> ・写真等から当時の体の大きさや、自分でできるようになったことを考えさせる。
展開	30	<p>課題：たくさんできるようになったひみつを見つけよう。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・家族や友だちなどに教えてもらったり応援してもらったりしてできるようになったことに気付くようにする。
		<p>2 できるようになったのはなぜか考え、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなったから。 ・家族が教えてくれたから。 ・お兄ちゃんが応援してくれたから。 ・練習をがんばったから。 <p>3 家から持ってきた家族からの手紙を読んで感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私を育てるのは、大変だったことが分かりました。 ・いっぱい心配してくれたり、大きくなっていくのを喜んでくれたりしていることが分かりました。 			
まとめ	8	<p>4 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、おうちの人や友だちのおかげで、できることが増えたことが分かりました。 			<p>評価規準【気付き】</p> <p>自分の体が大きくなったことや、自分でできるようになったことが分かり、自分の成長を支えてくれた人々の存在に気付いている。</p> <p>（発言・ノート）</p>
<p><配慮事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本実践は、保護者に写真や手紙を依頼するため、実践にあたっては、家庭環境等十分に踏まえた上で、実施の可否を判断する。 ・状況によっては、父母以外の家族等からの手紙でもよい。 ・学習内容について、お便り等で事前に家庭に連絡し、理解を得た上で行うようにする。 					